

WEEKLY マクロ経済指標の注目ポイント

<10月5日号>

～最近発表のマクロ経済指標から見る景気動向～

最近のマクロ経済指標の動向

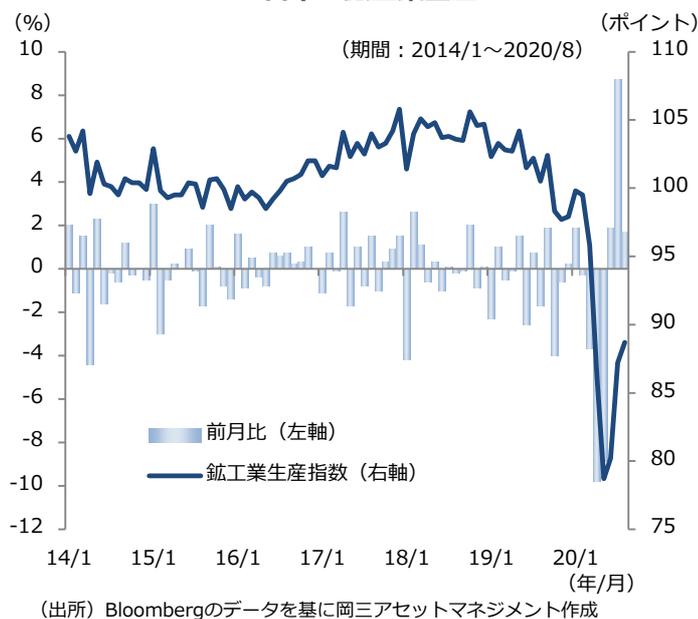
- 日本の生産・消費は持ち直すも、雇用情勢の悪化が足かせに
- 米国経済は個人消費が牽引して回復、先行きは伸び鈍化も堅調期待

日本：生産・消費は回復基調

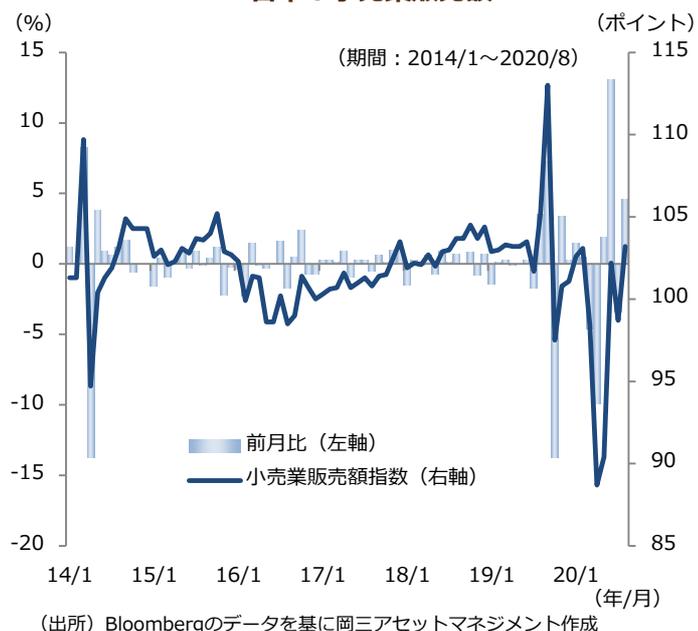
日本経済は4-5月を底として回復基調を辿っています。8月の鉱工業生産は前月比+1.7%(7月同+8.7%)と、3カ月連続の増加となりました。前年比では依然として大幅なマイナスであるものの、コロナ禍の落ち込みの半分弱を取り戻しました。業種別では、国内外の自動車市場の好調さを背景に、当月も自動車(同+8.9%)が伸びを牽引しました。また、電子部品・デバイス是他業種に先んじて前年比プラスに転じました。製造工業生産予測によると9、10月も増産が続く見通しです。ただ、仮に計画通りの増産になったとしても2020年1月を3%程度下回る水準に留まり、コロナ前の水準に戻るにはまだ時間を要すると思われる。

小売業販売額は前月比+4.6%と、ほぼ前年の水準まで回復しました。前月は新型コロナの感染再拡大や天候不順などを受け一旦落ち込みましたが、8月は高気温の影響などで季節商材が好調だったほか、新規感染者数の増勢がいくぶん落ち着いたことで個人消費は再び持ち直しました。9月は感染者数が更に減少しており、景況感を示す消費者態度指数も上昇基調です。また、10月には東京発着の旅行が「Go Toトラベル」の対象になったことを踏まえると、サービス消費の増加も予想されます。一方、完全失業率(8月)は約3年ぶりの3%台に乗せ、雇用情勢の悪化が懸念される状況です。ただ、有効求人数は2カ月連続で増加していることに加え、就業者数も増加しています。このため個人消費は緩やかな増加が続くものと考えられます。

日本：鉱工業生産



日本：小売業販売額



<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

WEEKLY マクロ経済指標の注目ポイント

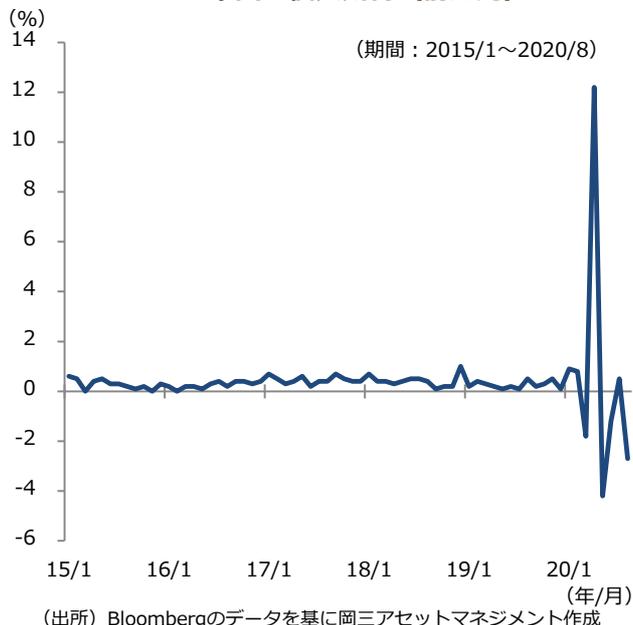
～最近発表のマクロ経済指標から見る景気動向～

米国：個人消費が経済回復を牽引

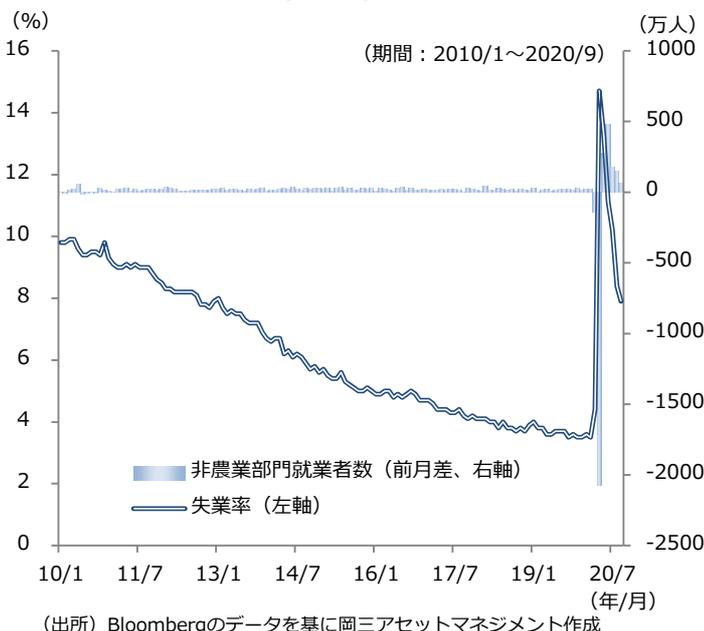
米国は、コロナ禍一巡後の挽回需要を牽引役として、景気の回復が続いています。8月は個人所得が前月比-2.7%（7月同+0.5%）と2カ月ぶりに減少しましたが、追加失業給付の終了がその背景です。米国では依然として追加経済対策で与野党の溝が埋まらない状況ですが、これまでの現金給付や追加失業保険給付などの支援策等で貯蓄が積み上がっており、当面はこれを原資として個人消費は堅調に推移するとみられます。その後は、雇用・賃金の動向、ひいては新型コロナの感染動向等が景気に大きく影響してくるものとみられます。

雇用については、新規失業保険申請件数は順調に減少しているものの、9月は非農業部門就業者数の伸びが急速に鈍化し、景気回復に伴う雇用の急回復継続という楽観は後退したと思われる。しかしそれでも、失業率は7.9%（8月8.4%）に低下、賃金も前月比プラスを維持しており、悲観に傾いていくわけでもないと思われる。また、消費者信頼感（コンファレンスボード）も9月に101.8（8月86.3）と上昇基調となっています。新型コロナの感染が欧州を中心に再拡大の動きとなっており、米国での動向も注目されますが、ワクチンや治療薬が早期に完成することで、社会的な不安は大きく後退するものと思われる。そうなると、米国経済もペースは鈍化しても、回復の動きは続くと考えられます。

米国：個人所得（前月比）



米国：雇用統計



今後の注目ポイント

- ✓ 米国：5日に9月ISM非製造業景況指数が発表されます。雇用情勢の回復ペースが鈍化するなか、景況感は前月をやや下回る可能性があります。
- ✓ 日本：8日に9月景気ウォッチャー調査の結果が発表されます。前月はコロナ前の水準を上回りましたが、今後も景況感の回復が継続するかが注目されます。

以上（作成：投資情報部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.85%（税抜3.5%）
 - お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内
 - お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
 ：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）
 ※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料**
- **監査費用**：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
 ※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
 （監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商 号：岡三アセットマネジメント株式会社
 事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
 登録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）